

11月6-12日

ヨブ 13-14 章

151 番の歌と祈り

開会の言葉（1分）星 延宏

神の言葉の宝

「人は死ぬと、もう一度生きられるでしょうか」（10分）伊藤 勇一

宝石を探し出す（10分）田中 克彦

ヨブ 13:12 あなた方の賢い(*ありがたい)言葉は灰の格言だ。あなた方の言い分は粘土の盾のようにもろい。

ヨブが友人たちの言葉を「灰の格言」に例えたのはなぜか。（洞-2 480 ページ 4 節）

灰は取るに足りないものや価値のないものの象徴にもなりました。例えば、アブラハムはエホバのみ前で、『この私は塵と灰にすぎない』と認めました。（創 18:27 アブラハムは再び言った。「エホバ、お願いします。土と灰にすぎない私ですが、申し上げさせてください。イザ 44:20 彼は灰を食べている。自身の欺かれた心によって惑わされた。自分を救うことができず、「私の右手にあるものは偽りではないか」と言うこともない; ヨブ 30:19 神は私を泥の中に投げ入れた。私は土や灰同然になってしまったも参照。）また、ヨブは偽りの慰め手たちの述べたことを、「灰の格言」になぞらえました。—ヨブ 13:12。

今週の範囲からエホバについて何を学べたか。宣教でどんな点を活用できるか。ほかにどんな宝石を見つけたか。

聖書朗読（4分）ヨブ 13:1-28（教励 第 12 課）長谷川 貴史

野外奉仕に励む

最初の話し合いの動画（5分）討議。「最初の話し合い: 聖書（テモ二 3:16, 17）」の動画を再生する。映像が止まったところで動画を一時停止し、画面に表示される質問をする。星 延宏
仕事やプライベートで役立つ情報が聖書から得られるということについてお話ししている。（はい）今は情報が溢れていますよね。きっとご主人は本当に役立つ情報を上手に選んでおられるのでは？今聖書のアドバイスに特に注目している人たちも居る。お読みになったことはある？（いや、無い）これは聖書の紹介文みたいな言葉なのだが、ちょっと見ていただける？テモ二 3:16「聖書全体は…教え、戒め、矯正し、正しいことに基づいて指導するのに役立ちます。」最後のところがポイントなのだが、聖書はどんな本だとあるか？（んー役立ちますって書いてある）私も読んでみて、本当にそうだと思うのだが、毎日の暮らしに役立つヒントが、沢山書いてある。例え

ば心の健康を維持する方法とか、人とのトラブルとかを上手く解決する方法とかです。〔**Q**、伝道者は聖句の要点が分かるようにどんなことをしていたか？⇒**マコ 3:16**の最後のところがポイントなのだが、聖書はどんな本だとあるか？と質問〕（へー、そうなんですか、以外ですね。）聖書って実用的。そうだとしたら、仕事やプライベートで聖書を参考にする人が居たとしても不思議じゃないですよ。ね。（まーそうですね。）今度良かったら聖書は古い本なのにどうして信用できるのか、お話しさせてください。〔**Q**、宣教ツールボックスの出版物をどのように活用できるか？⇒聖書を学ぶべきなのはなぜですか(短縮版)から聖書から人生の重要な疑問の答えも得られること示す〕

最初の話し合い（3分）[話し合いのサンプルの話題](#)に沿って話す。「いつまでも幸せに暮らせませう」の冊子を提供する。（[教励 第2課](#)）安斎 麻理 2 田島 智子

聖書研究（5分）[暮 セクション1の復習 質問 1-5](#)（[教励 19課](#)）布川 志津 19 高橋 綾子

クリスチャンとして生活する

[127 番の歌](#)

「[幾らかを取り分けておく](#)」（15分）討議。[動画](#)を再生する。長老が扱う。兄弟姉妹が王国の活動を支えるために寄付を取り分けていることに感謝する。 有田 悟

会衆の聖書研究（30分）[徹 1章 16-21節](#) 吉田 忍 朗読：有川 聖七

閉会の言葉（3分）

[76 番の歌](#)と祈り 滝 秀貞

^ ([ヨブ 13:1-14:22](#)) 私はこの全てを見た。聞いて理解した。2 あなた方が知っている事は私も知っている。劣ってはいない。3 私は全能者ご自身と話がしたい。神と話し合って自分の正しさを証明したい。4 あなた方はうそで私の評判を損なう。3 人とも無能な医者だ。5 あなた方は何も言わなければ、賢いことが明らかになっただろう。6 どうか私の反論を聞き、私の訴えに注意を払ってもらいたい。7 あなた方は、神のためであるかのように筋違いなことを言い、真実をゆがめて話すのか。8 あなた方は神の側に立つ*のか。真の神の正しさを自分たちで証明しようとするのか。9 神があなた方を調べても平然としていられるのか。死にゆく人間をだますのと同じく、神をだますのか。10 ひそかに取り入ろうとしても、神はあなた方を必ず叱責する。11 あなた方は神の威厳を知っておびえないのか。神を恐れるようにならないのか。12 あなた方の賢い*言葉は灰の格言だ。あなた方の言い分は粘土の盾のようにもろい。13 私が語るから、黙っていてほしい。その後なら、何が降り掛かってきてもよい！14 この身を危険にさらし、命を危うくしても構わない。15 たとえ神に殺されるとしても、私は待つ。神と向かい合って自分の正しさを証明しよう。16 神は救ってくださる。神を認めない人*は神の前に出られない。17 私の言葉をしっかり

「人は死ぬと、もう一度生きられるでしょうか」

人間は、死を避けることも人を復活させることもできない。(ヨブ 14:1, 2人は、女性から生まれ、寿命は短くa, 悩みの多い日々を送ります*b。 2 花のように咲き、枯れていき*ますc。影のようにどこかへ行き、いなくなります, 4汚れた人から清い人が生まれるでしょうかa。生まれません!, 10しかし人は死ぬと、力なく横たわります。人は息絶えるとどこにいますのでしょうか。塔99 10/15 3ページ1-3節 1)人の命の短さについて思い巡らしたこの言葉は、およそ3,500年前に書かれたものですが、今日でも、異議を唱える人はほとんどいません。わずかな間だけ人生の盛りを味わって、その後、年老いて死ぬということに人々はずっと物足りなさを感じてきました。ですから、歴史を通じて寿命を延ばす手段がいろいろと考え出されてきました。2)ヨブの時代のエジプト人は、動物の睾丸を食べて若返ろうと試みましたが、むなしい結果に終わりました。中世の錬金術の主な目的の一つは、不老長寿の秘薬を作り出すことでした。錬金術師の多くは、人工的に作り出した黄金が人に不滅の命を与え、黄金の器から食べる人は長生きすると信じていました。古代中国の道教徒は、瞑想や呼吸法や食餌療法などによって体の化学的性質を変え、不滅の命を得ることができると考えました。3)スペインの探検家ファン・ポンセ・デ・レオンは、若返りの泉を飽くことなく探したことで有名です。18世紀のある医師は、その著書「ヘルミッパ・レディウィウス」(*Hermippus Redivivus*)の中で、春季に若い処女たちを小さな部屋に集め、その呼気を瓶の中に入れて、寿命を延ばすための薬として使うよう勧めました。言うまでもなく、こうした方法はいずれも成功しませんでした。)

人は死んでもまた生きられる。(ヨブ 14:7-9 木でさえも望みがあります。木は切り倒されても、再び芽を出し、小枝が伸びていくのです。 8 たとえ根が地中で弱り、切り株が土の中で枯れても、 9 わずかな水気で芽を出し、新しい苗木のように枝を増やします。塔 15 4/15 32 ページ 1-2 節 1)レバノン杉の巨木と比べると、幹がねじれ、節くれだったオリーブの木は、それほど見栄えがしないかもしれませんが。しかし、オリーブの木には、厳しい気候に耐える際立った力が備わっています。樹齢 1000 年と推定されるものもあるほどです。根が広く張り巡らされているので、幹が破壊されても樹木自体は活力を取り戻すことができます。根が生きている限り、木は再び芽を出します。 2)族長ヨブは、自分は死んでもまた生きられる、と確信していました。(ヨブ 14:13-15)そして、復活を行なう神の力に対する確信を示すため、木を例えとして用いました。それはオリーブの木だったと思われます。こう述べています。「樹木にさえ望みがある……。たとえ切り倒されても、それはまさしく再び芽を出(す)」。雨が降って厳しい干ばつが終わると、乾いたオリーブの切り株は生き返って根から再び芽を出し、「新しい苗木のように必ず大枝を出す」のです。—ヨブ 14:7-9。)

エホバは、ご自分に忠実な人を復活させる力があるだけでなく、復活させたいと願っている。(ヨブ 14:14, 15 人は死ぬと、もう一度生きられるでしょうか a。私は捕らわれている間*, 解放の時が来るまでずっと待ちます b。 15 あなたは呼んでくださり、私はあなたに答えます c。あなたはご自分の手で造った人に再び会いたいと願ひ*ます。塔 11 3/1 22 ページ 5 節ヨブの言葉から、エホバの憐れみ深さが分かります。エホバは、ヨブのように神のみ手に身をゆだねて形造られ、神の目に望ましい者となる人に、特別の愛着を抱かれます。(イザヤ 64:8) ご自分の忠実な崇拝者を宝のように扱い、亡くなった忠節な人たちを「慕われます」。そう訳されているヘブライ語が「切に望む気持ちを表明する最も強い言葉の一つであることに疑問の余地はない」と、ある学者は述べています。そうです、エホバはご自分の崇拝者のうち亡くなった人たちを覚えておられるだけでなく、彼らを生き返らせたいと切に望んでおられるのです。)



じっくり考えてみよう エホバがご自分に忠実な人を復活させたいと思っているのはなぜだろうか。そのことを考えると、どんな気持ちになるだろうか。



クリスチャンとして生活する

「幾らかを取り分けておく」

使徒パウロが勧めているように、**寄付のために定期的に「幾らかを取り分けておく」**ことは大切です。**成り行き任せにしない**ようにしましょう。(コリ 16:2) そうすれば、**清い崇拝を支持し、喜びを味わう**ことができます。自分の寄付が**取るに足りない**ように思えることがあるかもしれませんが、それでも、**貴重なものを捧げてエホバを敬う**なら、**エホバはとても喜んでくださいます**。(格 3:9 あなたの貴重なもの、全ての産物(*収入)の初物(*最良の物)を捧げてエホバを敬え)

「『幾らかを取り分けて』くださっていることに感謝します」の動画を見て、次の質問に答えましょう。

1. 前もって寄付について計画しておくといよいのはなぜですか。

兄弟姉妹がどれくらい寄付するかが分かっているれば、組織は**活動の効果的なプラン**が立て易くなり、**活動にどれだけの資金が充てられるか**が分かるようになる。

2. 「幾らかを取り分けて」おくために、どんなことをしていましたか。

①1890年代から**翌年の確かな希望基金のためにいくら寄付したい**と思っているかを書いて支部事務所に送る。②**donait.jw.org**を通して、取り分けておいたお金を様々な方法で寄付することができる。例えば**毎月の寄付を設定**できる。③**法律に従って遺言状**を作成し、組織に寄付したい金額を明示することもできる。④**リマインダー機能を活用**して毎月忘れずにエホバの組織のために寄付している姉妹も居られた

(ルカ 14:28(例えば、塔を建てようと思う場合、まず座って費用を計算し、完成させるだけのものを持っているかどうかを確かめるのではないのでしょうか)の原則に従ってエホバの証人の支部事務所は、毎年プロジェクトに必要な費用を計算し、予算を組んでいる。寄付は予算を立てる上で重要な役割を果たしている。皆さんはコリ 16:2(毎週の初めの日に、各自が資力に応じて幾らかを取り分けておくべきです。私が到着してから募金することにならないようにしてください)の言葉に従っている。兄弟姉妹が定期的に惜しみなく寄付してくださっているのも、計画中のプロジェクトを進めても大丈夫だと確信できる。現代の JW の歴史を通じて、兄弟姉妹はいくらかを取り分けおくことで、どのように喜びを味わってきたか？(動画始め)いくらかを取り分けておくために様々な方法が取られてきた。1890年代初めから、塔 12/15 号に 1 枚の用紙が挟まれるようになった。翌年の確かな希望基金のためにいくら寄付したいと思っているかを書いて、支部事務所に送ることができた。この方法について塔 1896 年 12 月 15 日号にはこう書かれている。「兄弟姉妹がどれくらい寄付するかが分かっているれば、活動の効果的なプランが立て易くなる。」とはい

エ塔 1959 年 8 月 15 日号にはこれが義務でないことがこうはっきり書かれている。「これは・・・だた来る 1 年間に寄付できると希望するものを言い表すだけです」。現在では donait.jw.org を通して、取り分けておいたお金を様々な方法で寄付することができる。例えば毎月の寄付を設定することができる。法律に従って遺言状を作成し、組織に寄付したい金額を明示することもできる。そのようにすれば、組織は活動にどれだけの資金が充てられるかが分かるようになる。もちろん状況に合わせて寄付の設定の変更や取り消しができる。どんな形でも寄付することで、与える喜びを味わえる。（日本）以前救援活動に参加したときに、寄付が実際にどのように使われているかを自分の目で見ることができ、本当に感動した。こうした活動に対する感謝を表したいと思って、オンラインで寄付をする設定をした。毎月届く感謝状では、世界中の兄弟たちが本当に必要としているものが、寄付によって備えられているということを知ることが出来ている。そのような感謝状を読む時に、エホバの組織と一つになって働いていると感じている。（ブラジル）使徒パウロのアドバイスに従って、私たち夫婦は特定の額を取り分けておくことにした。生活費を計算し、状況を分析し、エホバに祈った。それに遺言書を作成することは大切だと思った。全てのものはエホバからいただいているので、ただエホバにお返ししているに過ぎない。お金が沢山あるから寄付をするのではない。エホバへの愛と感謝の気持ちからそうする。（南アフリカ）エホバの組織の役に立てて嬉しい。毎月寄付するのを忘れないようにリマインダー機能を活用している。アラートを設定しておけば、エホバの組織のために忘れずに寄付することが出来る。大事なのはどれほど寄付するかではなく、心を込めて行なうこと。そうすればエホバは喜んでくださる。（動画終わり） エホバを崇拝する人たちは、コリ 16:2 の言葉に従って、定期的にいくらかを取り分けておき、世界中の仲間に愛を表している。素晴らしいこと。今は終わりの時代なので、生活していくのは皆大変。自分では少ししか出来ていないと思えるとしても、皆さんがしていることをエホバは大切に思っている。寄付を取り分けている皆さんをエホバがこれからも祝福して下さいますように。皆さん本当にありがとうございます。）

オンライン寄付についてもっと詳しく

エホバの証人の活動を支えるために寄付をしたいと思う場合、どうすればよいでしょうか。JW Library®アプリのホーム画面の下部にある「[寄付をする](#)」のアイコンを選択してください。多くの国では、「よくある質問」から「エホバの証人への寄付 よくある質問」をダウンロードできます。



^ [（コリ 16:2）](#) 毎週の初めの日に、各自が資力に応じて幾らかを取り分けておくべきです。私が到着してから募金することにならないようにしてください。

^ [（格 3:9）](#) あなたの貴重なもの、全ての産物(*収入)の初物(*最良の物)を捧げてエホバを敬え。

または、「収入」。

または、「最良の物」。